

筑後市社会福祉協議会 / 広報

人として

筑後市社会福祉協議会

(〒833-0032 筑後市野町680-1)

TEL 52-3969

FAX 53-6677

Mail info@chikugo-shakyo.or.jp

URL http://www.chikugo-shakyo.or.jp

私たちの手で 私たちのまちを 福祉のまちに…それが社会福祉協議会の目標です。

車イス手話点字学習

筑後市内 全小学校で

福祉教育を実施



今年度も、7月から筑後市内小学校での福祉教育が行われています。肢体不自由の方、視覚障害の方、聴覚障害の方と交流したり、車イス・手話・点字の体験をしています。

▼ 車イス体験 ▲

ゲスト講師より、電動車イスに乗っての外出時の様子や、家の中の様子などを写真や動画で紹介。パラスポーツで獲得したメダルなどを紹介すると子どもたちからは、「すごい」といった声があがりました。

講話の後、実際に車イスを押したり、乗ったりした子どもたちは、「押すのが重くて大変だった」「段差や坂が怖かった」などの感想も聞かれました。

質問の時間には、子どもたちから普段の生活や趣味、お仕事についてなど様々な質問がありました。

ゲスト講師は、「障害がある人は特別ということではないんだよ。みんなと同じように暮らしているから見かけた時は、ぜひ勇気を出して声をかけてみてほしい。共に生きるとは、みんなが幸せになるということだよ」と話されました。

2面に続く

▼ 点字体験 ▲

昨年から、新型コロナウイルスの影響で小学校と社協をオンラインで繋いでゲスト講師による講話と点訳グループむつまじ会による点字体験を実施しています。

ゲスト講師の講話では、

「目が見えなくて、困ることは沢山ある。でも生きていけないほど困ることはないんだよ。それは、手伝ってくれる人がいるから」

「もし、白杖を持っていてる人を見て、迷っている様子や困っている様子だったら、勇気を出して声を掛けてみて。もしかしたら、『大丈夫』と言われるかもしれないけど、嫌な気持ちになる人はいないから。同じようにみんなも困ったときは、『助けて』って言うっていいんだよ」とのお話がありました。

点字体験では、実際に点字器を使って自分の名前や好きな言葉などを打ちます。体験した子どもたちは、「目が見えないのに、点字をあんなに早く打つのはすごいと思った」「点字を打つのは楽しかった。もっとやりたい」などの感想も聞かれました。

▼ 手話体験 ▲

ゲスト講師より、実際に家で使っている道具を使いながら聴覚障害の方の暮らしを紹介。少し離れたところにいる家族には、ハンカチなどの物を投げたり、足をドンドンと振動させて知らせるなどのコミュニケーションの工夫も話されました。

手話体験では、挨拶を練習したり、実際に子どもたちが自己紹介をしたりしました。講師に名前を読み取ってもらおうと子どもたちは、嬉しそうにしていました。

休み時間には、子どもたちが講師の周りに集まって覚えてたての手話やジェスチャーで会話する様子もみられました。

講師の方は、

「手話は、私たちにとって気持ち伝える大切な言葉。でも、手話ができないから会話ができないわけではないんだよ。筆談やジェスチャーなど様々な方法がある。耳が聞こえない人は見た目では分かりにくいけど、出会った時は、今日学習した手話と異なる方法でお話してみてもいい。伝わるということ、とても嬉しいことだから」と話されました。

おやこdeなぞときクエスト



9月23日(祝)、9月24日(土)に総合福祉センターでおやこdeなぞときクエストを開催しました。43組のご家族(大人50名、子ども74名)に、点字や車イス、災害時の避難のこと、福祉の考え方などを学ぶ謎解きに挑戦していただきました。

「これは点字とって、目の見えない人が使う文字だよ」「災害の時はここに避難できるんだね」といった親子の会話も。

参加費(300円)は全て赤い羽根共同募金の寄付金にさせていただきました。

介護家族の会コスモス

介護講座 介護費用編



9月25日(日)総合福祉センターにて第3回目の介護講座が開催されました。デイサービス利用や施設入所など介護にかかる費用についてケアマネジャーより説明しました。「今までも聞いたことはあったけど、今回改めて理解できた」「介護の制度も変わっていくので、使える制度は使っていきたい」などの感想も聞かれました。

サービスを受ける前に、自分の住んでいる地域の地域包括支援センターに事前に相談しておくことも大切です。

地域学童保育所 職員募集

職種	放課後児童支援員
勤務時間等	週6日、1日5時間(延長の場合あり) (休日:日祝日、12/29~1/3、8/13~8/15)
給与	月給120,000円(別途、通勤手当・賞与・役職手当支給)
資格・条件等	不問 ※ただし、放課後児童支援員認定資格取得者が望ましい(保育士、社会福祉士、2年以上の児童福祉従事経験者、幼稚園、小中学校の教員資格取得者等含む)。
募集人員	若干名
採用試験	作文と面接 ・試験日時:12月18日(日)9:00~ ・会場:筑後市総合福祉センター
申込み締切	11月30日(水)17時必着
採用予定日	令和5年1月1日(勤務は1月4日~)

- 勤務先** 筑後市社会福祉協議会が運営する学童保育所(配属先は未定)
- 応募方法** 市販の履歴書に必要事項を記入し、下記へ提出(郵送・持参)してください。
資格取得者は、資格証明書又は取得見込み証明書の写しを添付
- 申込み・問合せ先** 筑後市社会福祉協議会 総務福祉課 (〒833-0032 筑後市野町680-1)
TEL 0942-52-3969 FAX 0942-53-6677 Mail info@chikugo-shakyo.or.jp



ひとり親家庭を応援!

フードパントリー

〈食料品の無料配布〉

筑後市社会福祉協議会では、お米、インスタント食品、缶詰、お菓子等の食品を無料配布します。必要な方は、ご遠慮なくお越しください。
★数に限りがありますので、先着順とさせていただきます。

対象 平成12年4月2日以降
生まれの子がいるひとり親家庭

配布時期 11月7日(月)~10日(木)
午前9時~午後6時
11月11日(金)
午前9時~午後5時

配布場所 筑後市総合福祉センター

- ・事前の申込みは不要。
- ・仕事の都合等で来所が困難な方は、右記へご相談下さい。
- ・期間中1世帯1回限り



グリーンフードパントリー
〈野菜の無料配布〉も実施中!

公式LINEにてお知らせしています。



ひきこもり家族相談会

とき 11月17日(木) 13:00~16:00

★11月10日(木)17時までに要予約

(1日限定3名・匿名可)★原則来所での相談

ところ 筑後市総合福祉センター(野町680-1)

精神障害のある人のための
居場所・交流スペース

かたる~む

★11月の開設日のお知らせ★

とき 11月11・25日(金) 13:30~15:00

★予約不要・時間内出入り自由

ところ 筑後市総合福祉センター(野町680-1)

筑後市社会福祉協議会

問合せ
申込み

TEL 52-3969 FAX 53-6677
Mail info@chikugo-shakyo.or.jp

社会福祉事業資金寄付

★ 香典返し寄付の部 ★

城戸 千代子様(故 登様)	二本松
永松 勝子様(故 博文様)	前津
緒方 信子様(故 一人様)	二本松
平井 裕二様(故 春夫様)	長浜
篠原 政幸様(故 喜久男様)	鶴田
松尾 信子様(故 春男様)	野町
松尾 信子様(故 明生様)	野町
吉田 朱美様・松尾 博子様	
(故 大津山 和子様)	長浜
匿名様 1件	

★ 計 二四五、〇〇〇円

善意奉仕銀行寄付

● 預託の部(物品口座)

- (株)アプロディア様(上原々南) よりお菓子の寄付がありました。
- 野田製菓様より黒棒の寄付がありました。
- 匿名様よりお米の寄付がありました。
- 匿名様よりポータブルトイレの寄付がありました。
- 匿名の区长様よりお米の寄付がありました。
- 馬場淳様(藤島)よりマスクの寄付がありました。

子育て世代を食で応援! プロジェクト



市民の皆様から寄付いただいた食品(お米、インスタント食品、乾麺、調味料、フリーズドライスープ類など)を無料配布します。

日程: 11月11日(金) 18:00~19:30

対象: 小中学生の子どもがいる世帯

※数に限りがあります

※1世帯1セットの配布です

※筑後市在住の方に限ります

※ひとり親家庭の方は除きます。毎月第2週目に実施する「ひとり親家庭のためのフードパントリー」をぜひご利用ください。

会場: 筑後市総合福祉センター

○事前の申込みは不要です。直接お越しください。

問合せ/ 筑後市社会福祉協議会

TEL 52-3969 FAX 53-6677

Mail info@chikugo-shakyo.or.jp



赤い羽根共同募金 つかいみちデータベース

下記QRコードで読み取ると使いみちを確認し、募金することができます。



【いずれも9月1日~9月30日まで】

○匿名様より玄米の寄付がありました。
○ユニコーラッキー筑後店様(長浜)よりお菓子の寄付がありました。

精神障害の本人と家族の会ひまわりのつどい × ひきこもり家族会サルビアの会学習会 「HSPについて知ろう」

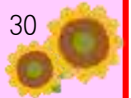
と き 11月5日(土) 14:00~15:30

と ころ 総合福祉センター

講 師 松尾義邦さん(精神科看護師)

HSPとは?

繊細さんとも呼ばれる。職場や家庭など生活の中で気疲れしやすく、生きづらいつと感じている方も多いと言われています。



事務局通信

就職で他県に住んでいた時、大雨で、浸水や土砂崩れが起こり、数日間、市が孤立する水害に見舞われたことがあります。

たまたま上の階に会社の同期が住んでいたのに避難させてもらいました。しかし、同期がいなければ、知っている人もいない避難所に一人で行く勇気もなく不安で怯えながら過ごしていたと思います。また、そのような気持ちで過ごしていた方が近くにいたかもしれません。

体調の変化や、自然災害など暮らしていて不安に感じることがあります。身近に住む地域の人と日頃から顔を合わせておくことはとても大切なことだとその時に実感しました。

10月1日より、赤い羽根共同募金がスタートしました。集まった募金は様々な地域福祉活動や災害時の支援などに使われています。

地域には、色々な方が暮らしています。誰しも不安や困ったことが起こることがあります。「困ったときはおたがいきさま」「じぶんのまちを良くするしくみ」として運動している共同募金。地域の誰かとあなた自身の安心に繋がっています。(実)